

令和 7 年度 愛知医科大学看護学部学生生活実態調査 結果

無記名マーク方式調査

全回答数 378 名

(1 学年 102 名 2 学年 113 名 3 学年 84 名 4 学年 79 名)

回答率 87.3%

Q1 現在、住んでいるところ

自宅	<u>82.5%</u>
1 人暮らし	16.1%
その他	1.3%

Q2 予習/復習に費やす平均時間

予習	予習しない	1 時間未満	1～2 時間未満	2～3 時間未満	3 時間以上
1 学年	35.3%	<u>47.1%</u>	17.6%	0%	0%
2 学年	22.1%	<u>49.6%</u>	24.8%	3.5%	0%
3 学年	25.0%	<u>53.6%</u>	21.4%	0%	0%
4 学年	34.2%	<u>51.6%</u>	12.7%	1.3%	0%

復習	復習しない	1 時間未満	1～2 時間未満	2～3 時間未満	3 時間以上
1 学年	35.3%	<u>50.0%</u>	11.8%	2.9%	0%
2 学年	25.7%	<u>54.9%</u>	15.9%	3.5%	0%
3 学年	21.4%	<u>56.0%</u>	20.2%	1.2%	0%
4 学年	26.6%	<u>58.2%</u>	13.9%	1.3%	0%

Q3 予習/復習時間の中で ICT 利用をしている時間

	使用しない	1 時間未満	1～2 時間未満	2～3 時間未満	3 時間以上
1 学年	10.8%	<u>41.2%</u>	24.5%	4.9%	18.6%
2 学年	9.7%	<u>30.1%</u>	25.7%	12.4%	21.2%
3 学年	8.3%	<u>33.3%</u>	32.1%	7.1%	17.9%
4 学年	13.9%	<u>32.9%</u>	20.3%	13.9%	19%

Q4 一週間のうちの朝食回数

0 回	3.4%	1 回	5.8%	2 回	9.2%
3 回	8.4%	4 回	12.9%	5 回	<u>59.9%</u>

Q5 一週間のうちの外食回数

0 回	15.0%	1 回	<u>40.9%</u>	2 回	23.0%
3 回	15.0%	4 回	2.1%	5 回	3.2%

Q7 一日の平均睡眠時間

5 時間以下	23.7%
約 6 時間	<u>54.4%</u>
約 7 時間	18.7%
約 8 時間	2.4%
約 9 時間	0.3%
10 時間以上	0.0%

Q8 睡眠習慣による日常生活支障度

全く支障がない	10.0%
少し支障がある	<u>41.7%</u>
いくらか支障がある	26.6%
とても支障がある	14.2%
きわめて支障がある	7.1%

Q9 一週間あたりのサークル・部活動の参加回数

1 回	29.8%	2 回	15.0%
3 回	10.8%	4 回	0.8%
5 回以上	0.3%	入っていない	<u>42.5%</u>

Q10 一週間あたりのサークル・部活動への参加時間

1 時間未満	5.5%
1－2 時間	15.3%
2－3 時間	26.1%
3－4 時間	9.5%
4 時間以上	1.1%
入っていない	<u>42.0%</u>

Q11 奨学金受給状況（2つまで選択可）

返済が必要な奨学金を受けている	24.5%
病院等に就職した際に返済が免除される奨学金を受けている	22.7%
現在は受けていないが、今後受けようと考えている	7.9%
受けていない	<u>48.0%</u>

Q12 奨学金受給理由

経済的負担が軽減される	28.8%
アルバイトが軽減される	1.3%
学費が軽減される	10.6%
皆もしくは、友人がもらっている	0.5%
親からもらうように言われた	11.9%
必要がないので貰っていない	<u>41.4%</u>
その他	1.3%
未回答	

Q13 一週間あたりのアルバイト時間

10 時間未満	21.9%
10-20 時間未満	<u>48.3%</u>
20-30 時間未満	20.6%
30 時間以上	2.9%
していない	5.5%

Q14 現在の経済状況

とても苦しい	4.0%
苦しい	14.2%
どちらでもない	<u>26.6%</u>
あまり苦しくない	22.7%
苦しくない	31.9%

Q15 現在の不安や悩みの有無

ある	30.6%	<u>(116 人)</u>
ない	<u>68.1%</u>	
未回答	0.8%	
選択間違い	0.3%	

Q16 不安や悩みの中で重要性・緊急性の高い順

解答者 137 (36.2%) 未選択 241 人 (63.8%)

	1 位	2 位	3 位
学業について	<u>17.2%</u>	4.8%	2.1%
友人などの交友関係について	2.6%	3.7%	0.5%
健康について	1.1%	0.3%	2.9%
部活動について	0.3%	1.1%	1.3%
アルバイトについて	1.1%	2.1%	2.9%
就職や将来の進路について	8.3%	<u>9.3%</u>	4.2%
異性の問題について	0.8%	1.1%	1.9%
経済的な問題について	1.9%	2.6%	1.3%
看護職への適性について	1.6%	5.0%	<u>4.8%</u>
家庭の問題について	0.5%	0.5%	0.5%
実習グループなどの学生関係について	0.3%	0%	1.9%
教員の対応について	0%	0.3%	0.3%
その他	0.5%	0%	1.3%

Q17 不安や悩みの相談先(複数回答) (回答者 109)

学生相談室	5.5%
アドバイザー教員	14.7%
アドバイザー以外の教員	5.5%
事務職員	0.0%
家族	<u>58.7%</u>
友達	47.7%
相談しない	19.3%
その他	1.8%

結果の総括

予習・復習に費やす平均時間については、すべての学年において 1 時間未満が最も多く約半数を占め、2～3 割は予習も復習もしていないという結果であった。昨年までの結果では、平均時間はどちらも約 65 分で、予習、復習時間を 0 分と回答していた学生は 0.6%と 1 割に満たなかった。本設問については、今年度から、設問方式を時間の入力から選択へ変更したため、比較することは難しいが、予習、復習をしていない学生が増加傾向にあることが伺える。

学習における ICT 利用については、全ての学年において、1 時間未満が 3～4 割と最も多く、3 時間以上が約 2 割を占め、使用していない学生が 1 割程度という結果であった。学生の学習スタイルによって ICT 使用時間にはばらつきがみられるが、今後ますます IT 化が進むなか、予習・復習においても ICT を

長時間使用している学生がいる点については、注視していく必要がある。

睡眠状況は、半数が「約 6 時間」で 5 時間未満が 2 割であり、睡眠習慣による生活への支障については全く支障がないと回答したのは 1 割弱で、9 割強が何らかの支障があるという結果であった。中でも、とても支障がある、きわめて支障があるは合わせて 2 割であり、昨年に引き続き、睡眠習慣が良好でない実態が継続している。

現在の経済状況については、とても苦しい、苦しいという回答が合わせて 2 割弱で昨年度より微増し、どちらでもないが減っていた。奨学金受給理由に経済的負担が軽減されると 3 割弱が回答しており、経済状況に合わせて奨学金を利用していることが伺えた。

現在の不安や悩みをあると回答したものは 3 割で、その内容は学業が最も多く、次いで就職や将来の進路、看護職の適正となっていた。相談先については、友達や家族が約 6 割であったが、2 割は相談しないと回答しており、昨年より 1 割増加していた。

今回の調査を通じて、学生生活において、予習・復習時間を全くしていない学生がいること、長時間 I C T を使用している学生がいること、睡眠習慣が良好でない実態が継続していること、不安や悩みを相談しない学生が増加傾向にあることが明らかとなった。